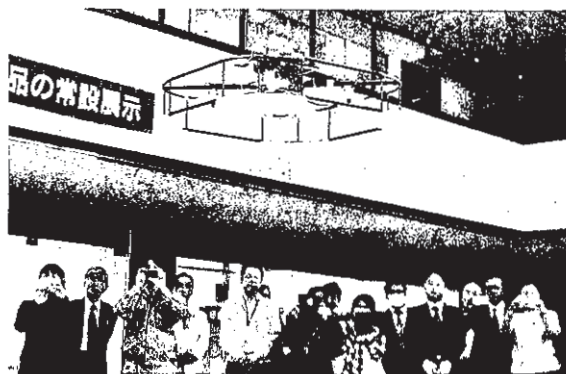


## 小型無人ヘリ活用法学ぶ 工技センターで講演会

デモ飛行が披露されたドローン  
徳島市の県立工業技術センター



徳島県内でも業務での利用が広がっている

小型無人ヘリコプター「ドローン」をテーマにした「技術シーズ講演会」（県立工業技術センター主催）が20日、徳島市の同センターであり、利用を検討している企業や農業法人、行政の関係者約40人が効果的な活用法や安全確保の必要性について理解を深めた。

ドローンの研究開発に取り組む徳島大大学院の三輪昌史准教授が、空撮や農業散布などの活用例を紹介。

「人が行けない危険な場所の状況把握にも役立つ」と話し、二次被害が懸念されるトンネル崩落事故などでの利用価値を強調した。

ドローンで空撮事業を行っている映像制作会社「DIPLAN」（徳島市）の河野和宏社長は「いろんな要因で墜落することはある」と安全面での課題を指摘。趣味で空撮し、インターネットに投稿するケースが増えているとして「安全第一の徹底を周知する必要がある」と訴えた。

講演に続き、センターのロビーで、三輪准教授が開発したドローンのデモ飛行が行われた。（久保高茂）